

第336号 2013年 8月16日  
弘前大学総務部広報・国際課

学術講演会・研究発表会・公開講座

地域社会研究会の開催のお知らせ

弘前大学大学院地域社会研究科では、地域社会研究会を下記により開催いたします。  
地域社会にかかわる研究に興味のある方はどなたでも参加・聴講できますので、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：2013年 8月24日（土）13:00～
2. 場 所：弘前大学創立60周年記念会館  
コラボ弘大8F 八甲田ホール

問い合わせ先：弘前大学地域社会研究科事務局 竹ヶ原公  
E-mail: takegahara2002@yahoo.co.jp



「第20回 震災研究連絡会～弘前大学のネットワークで震災研究を広げよう～」  
開催のお知らせ

弘前大学大学院地域社会研究科では、「第20回震災研究連絡会」を下記により開催いたします。  
震災対応や震災研究に興味のある方はどなたでも参加・聴講できますので、多数の皆様のご参加をお待ちしております。  
当日は2つの報告の後に、震災に関する情報・意見交換を行います。  
情報をお持ちの方はこの機会にご紹介ください。

1. 日 時：2013年 8月27日（火）  
17:00～20:00
2. 場 所：弘前大学創立60周年記念会館  
コラボ弘大8F 八甲田ホール
3. 対 象：震災対応や震災研究に興味のある方はどなたでも参加・聴講可能です。

4. プログラム：

17:05～ 講 演



- ・山口 恵子 氏（東京学芸大学准教授）  
「野田村でのオーラル・ヒストリー調査から（仮）」
- ・森反 章夫 氏（東京経済大学教授、東京経済大学災害復興研究所長）  
「陸前高田・長洞から我々が学びうること（仮）」

19:00～ 質疑応答・討議、および意見・情報交換

**問い合わせ先：** 弘前大学地域社会研究科 教授 檜 貢  
TEL：0172-39-5337  
E-mail：himaki@cc.hirosaki-u.ac.jp

文部科学省「社会システム改革と研究開発の一体的推進」事業 地域再生人材創出拠点の形成  
「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」  
「平成25年度 第3回被ばく医療プロフェッショナルセミナー」開催のお知らせ

弘前大学「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」では、広島大学原爆放射線医科学研究所の田代 聡教授をお招きし、被ばく医療プロフェッショナルセミナーを開催いたします。

1. 日 時：2013年9月3日（火）18:00～19:00
2. 会 場：弘前大学大学院保健学研究科 第24講義室（6階）
3. 講 師：広島大学原爆放射線医科学研究所  
細胞修復制御研究分野  
教授 田代 聡 氏
4. 演 題：「放射線による染色体異常の形成とゲノム修復機構」
5. 参加料：無 料



6. 申込み：9月2日（月）までに電話・FAX・メールのいずれかでお申込みください。  
○メールの場合：メールの件名を「被ばくセミナー申込」とし、所属・職名・氏名を本文へ記入の上、E-mail：[jm5401@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm5401@cc.hirosaki-u.ac.jp)までお申込みください。  
○電話・FAXの場合：0172-39-5521（電話） / 0172-39-5514（FAX）へ所属・職名・氏名を添えてお申込みください。

**問い合わせ先：** 弘前大学「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」事務局  
被ばく医療総合研究所  
電話：0172-39-5521 FAX：0172-39-5514

## 「第15回青森継続看護研究会」開催のお知らせ

青森継続看護研究会は、専門職のコミュニケーション・スキルと説明責任 - 日頃のコミュニケーションを問い直そう - をメインテーマに、下記のように開催いたします。どなたでも参加できます。多数のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：2013年9月7日（土） 10:30～16:35
2. 会 場：弘前大学医学部コミュニケーションセンター  
（弘前市本町40-1）
3. プログラム：

○示説発表 10:35～11:35

1群 座長：横山 純子 氏（一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター看護師長）

2群 座長：則包 和也 氏（弘前大学大学院保健学研究科講師）

病院、訪問看護ステーションから、6演題の発表があります。

○教育講演 13:00～14:40

「専門職に活かすコミュニケーション技術」

講師：大島 武 氏（東京工芸大学芸術学部 教授）

座長：木立 るり子（青森継続看護研究会会長／弘前大学大学院保健学研究科教授）

○シンポジウム 14:50～16:30

「それぞれの立場からのコミュニケーション・スキル」

コーディネーター：今村 かほる 氏（弘前学院大学文学部准教授）

病棟看護師、訪問看護師、メディカル・ソーシャル・ワーカー、ケアマネージャーの立場から発表していただきます。

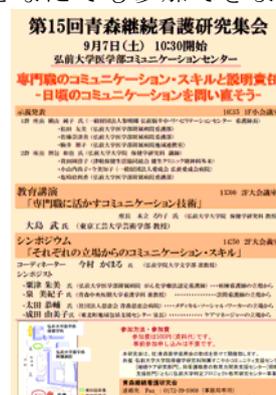
4. 参加費：資料代として500円をお願いしています。

参加申し込みは不要です。

問い合わせ先：弘前大学大学院保健学研究科 木立るり子

TEL・FAX：0172-39-5922

E-mail：kidachi@cc.hirosaki-u.ac.jp



## 第15回「家庭でできる看護ケア教室」開催のお知らせ

1. 日 時：2013年10月31日（木）13:00～15:30  
2013年11月14日（木）13:00～15:30
2. 会 場：弘前大学医学部コミュニケーションセンター（駐車場はありません）
3. 対 象：市民の方々（先着順で30名様）

4. 参加費：無 料

5. プログラム：

第1回：10月31日（木）13：00～15：00  
「家庭でできる感染予防 ～自分・家族を守る方法～」  
「知って得するおむつのはなし  
～おむつの当て方のコツ、皮膚トラブルの対処まで～」

第2回：11月14日（木）13：00～15：30  
「健康的ないきいき生活のちょっとしたコツ  
～生活習慣見直しのきっかけになります！～」



※看護の専門領域で活躍するナースが講師となり、実際に即した方法をお伝え致します。  
※講義は1回のみ参加も可能です。申込時にお知らせください。  
※第2回目は、簡単な運動もありますので動きやすい服装でおいでください。

6. 受付期間：2013年10月1日（火）～10月18日（金）  
土・日曜日・祭日を除く9：00～17：00

7. 主 催：弘前大学医学部附属病院 看護部  
(この事業は、社団法人青森医学振興会の助成金で運営されております。)

申込み・問い合わせ先：弘前大学医学部附属病院 地域連携室 福士明美  
TEL：0172-39-5337

平成25年度 第2回油化学セミナー  
「サビにくい体にする抗酸化食品の健康調節機能」開催のお知らせ（再掲）

食品に含まれる様々な機能成分の中で、抗酸化物質は動脈硬化や老化などの促進物質を消去する効果があることが知られています。そこで、このような抗酸化機能をもつ食品とアンチエイジングとの関係をテーマに、食品と健康を考えるセミナーを企画しました。また、健康な生活を送るためのヒントとなる食についても講演していただきます。多数のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：2013年8月23日（金）  
13：00～17：00（12：30受付開始）

2. 会 場：弘前大学創立60周年記念会館  
コラボ弘大8F 八甲田ホール  
(青森県弘前市文京町3)

3. 対 象：どなたでもご参加いただけます（事前申込必要）

4. プログラム（演題及び講師）：

1. 「魚油ばかりじゃないDHAとEPA  
—水産リン脂質の有用性—」

近年、EPAやDHAに由来する健康性機能は、魚油型（中性脂肪型）よりも、リン脂質型の方が優れていることが明らかになりつつある。DHAやEPAに富む水産リン脂質は、共存する他の機能性成分の働きを高める働きもある。

2. 「食品に含まれる抗酸化成分とその作用性 -抗酸化作用とは?-」

東北大学大学院 歯学研究科 庭野 吉己 氏

抗酸化食品の活性酸素消去機構として、生体内で産生される活性酸素の特徴と食品に含まれる代表的な抗酸化成分（ビタミンC・E、カテキン、ポリフェノール、カロテノイドなど）の作用機序を紹介する。

3. 「上杉鷹山公が奨励した植物「ウコギ」の健康食品としての魅力」

山形大学名誉教授 尾形 健明 氏

山形県米沢市には、総延長20kmに及ぶ落葉低木のヒメウコギの生垣がある。産学官連携による取組みの結果、ウコギ葉には多くの機能性成分が含まれ、種々の薬理作用を持つことが明らかになり、商品化が進められている。

4. 「次世代のトレンド「赤い果肉のリンゴ」の可能性と研究・育種の現状」

弘前大学 農学生命科学部附属生物共生教育研究センター 松本 和浩 氏

弘前大学で育種した果肉まで赤いリンゴ新品種「紅の夢」などの育種・研究の現状を説明し、普及に向けてどのような取り組みをしているのか、抗酸化食品としてどのような研究シーズがあるのか紹介する。

5. 申込締切：2013年8月19日（月）

6. 申込方法：下記のメールアドレス、FAX番号まで、氏名及び連絡先を明記の上、お申し込みください。

7. 参加費（テキスト代を含む）：無料

8. 主 催：公益社団法人 日本油化学会関東支部

9. 共 催：一般社団法人 油脂工業会館

**申込み・問い合わせ先：** 弘前大学大学院保健学研究科 中川公一  
TEL・FAX：0172-39-5921  
E-mail: nakagawa@cc.hirosaki-u.ac.jp

文部科学省「情報ひろば」にて  
弘前大学「被ばく医療」の取組に関する企画展示のお知らせ（再掲）

弘前大学は、文部科学省 情報ひろば「旧秘書官室」において、『「被ばく医療」の取組』について、一般の方々に分かりやすく紹介するための企画展示を行うことになりました。

これまで本学が取り組んできた被ばく医療人材育成や東日本大震災後に発生した東京電力福島第一原子力発電所事故での福島県への支援等について、パネル等で紹介いたします。

1. 展示期間等：2013年8月1日（木）～11月末（予定）  
月曜から金曜の10：00～18：00 ※土曜・日曜・祝日は休館日です。
2. 展示場所：旧文部科学省庁舎3階 情報ひろば「旧秘書官室」  
（東京都千代田区霞が関3-2-2）
3. 展示概要：

本学では、緊急時の危機管理対策の一環として、以前から被ばく医療に即応可能な体制の整備に取り組んでおり、これまでに、医学部、大学院保健学研究科、被ばく医療総合研究所等において被ばく医療の教育、研究を通して、被ばく医療を担える人材の育成を図ってきたほか、医学部附属病院高度救命救急センターでは、被ばく患者を受入、治療を行える体制を整えてきました。

東日本大震災後に発生した東京電力福島第一原子力発電所事故により、大量の放射性物質が大気中に放出され、環境等への影響を及ぼすようになったことから、放射線に関する基礎知識を多くの方々に理解していただくとともに、本学がこれまで取り組んできた被ばく医療に関連する人材育成や福島県への支援等について紹介します。

#### 【主な展示物】

##### ○パネル展示

- ・放射線の基礎知識
- ・被ばく医療の人材育成
- ・福島県への支援
- ・活動成果の学術的情報発信 など

##### ○実物展示

- ・霧箱（放射線の飛跡を観測することができる装置です。）  
※霧箱実物を展示しますが、放射線の観測は、事前に撮影した映像をモニターで紹介  
します。
- ・放射線測定器  
※日常生活で身のまわりにある「乾燥コンブ」等の放射線測定器「ベータちゃん」で  
測定できます。

**問い合わせ先：** 弘前大学総務部広報・国際課  
TEL：0172-39-3012  
E-mail：jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp

## 学 内 掲 示 板

### 総合情報処理センターからのお知らせ

来る8月24日（土）9時～12時までの間、学外とのネットワーク接続ができなくなります。  
詳しくは、総合情報処理センターのwebページに掲載しておりますので、ご覧ください。

<http://www.cc.hirosaki-u.ac.jp/blog/1798>

**問い合わせ先：** 研究推進部社会連携課共同センターグループ 須藤・小倉  
内線：3726  
E-mail：cc-staff@cc.hirosaki-u.ac.jp

### 弘前大学出版会から出版のための企画募集

弘前大学出版会から著書の出版を希望される方は弘前大学出版会にご相談ください。出版企画提

案書の書式を添付ファイルでお送りいたしますので、ご記入の上ご返送ください。詳細についてはご連絡いただいた折に、ご説明いたします。

**問い合わせ先：** 弘前大学出版会（附属図書館内）  
TEL：0172-39-3168  
FAX：0172-39-3171  
E-mail：hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp

#### **国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」について**

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」を作成しています。

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧いただけます。

<http://www.janu.jp/report/infomation.html>

第28号・第25号・第23号・第22号において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から） 講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部広報・国際課広報・国際グループ

E-mail: jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp FAX:39-3498、内線：3029